

第15回全国障害者芸術・文化祭かごしま大会
～ふれ愛・アートフェスタかごしま～
開催結果概要



◆ 大会愛称 ふれ愛・アートフェスタかごしま

◆ 開催日程 平成27年11月27日（金）～29日（日）

◆ 場 所 かごしま県民交流センター

◆ 目 的

障害のある人の芸術や文化活動への参加を通じて、障害のある人の自立と社会参加を促進するとともに、障害に対する国民及び県民の理解と認識を深め、障害のある人もない人も、誰もが安心して暮らすことのできる鹿児島づくりの実現に寄与することを目的とする。

◆ 大会のコンセプト

“障害のある人もない人もみんなで楽しみ、交流でつなぐアートの輪！”

◆ 開催方針

①みんなが集まり、みんなでつくる大会

障害のある人もない人も、誰もが参加できる大会となるよう工夫し、大会に参加し交流することで相互の理解と認識を深める契機とする。

②触れて、体験して、みんなで楽しむ大会

障害のある人の芸術や文化活動の成果発表・紹介はもちろん、県内外の様々な芸術分野の作品に触れることで、誰もが多様な文化芸術に親しめる機会を創出する。

③かごしまの魅力を感じ、みんなで発信する大会

おもてなしの心にあふれた鹿児島ならではの大会を目指し、「第30回国民文化祭・かごしま2015」とも連携しながら、「本物。鹿児島県」の魅力を全国に発信する。

◆ 開催内容

- ・ オープニングセレモニー
- ・ 全国障害者美術・文芸作品展
- ・ アール・ブリュット展～終わりのない着地点～
- ・ パラアート展
- ・ ステージイベント
（パフォーマンスステージ、ふれ愛ステージ）
- ・ ワークショップ
（テーマ：①みんなでつくる！②みんなでまなぶ！
③かごしまの魅力を感じる！）

- ・ バリアフリー映画祭（5作品の上映、トークショーの開催）
- ・ 菊池桃子講演会
- ・ かごしまあったかタウンマルシェ
- ・ ゲストステージ
（木下航志ライブ、川畠成道ヴァイオリンコンサート、鳥取県立米子養護学校「神楽」、城南海ライブ、音パフォーマンスotto&orabu、井上あずみ&ゆーゆーハートフルコンサート）
- ・ フィナーレイベント

参加・来場者数等

1 参加・来場者数（延べ人数） 約17,000人

主なイベントの来場者数

- ・全国障害者美術・文芸作品展 2,075人
- ・アール・ブリュット展 1,603人
- ・県民ホールイベント（セレモニー、パフォーマンスステージ、講演会等）3,805人
- ・バリアフリー映画祭 857人
- ・ワークショップ 700人（参加者数）

2 大会出演・出展者数（延べ人数） 719名

主なイベントの出演・出展者数

- ・パフォーマンスステージ：14団体（175人）
- ・ふれ愛ステージ：18団体（141人）
- ・かごしまあったかタウンマルシェ：25団体

3 全国障害者美術・文芸作品展出展数 554点（県内：403点，県外：151点）

うちテーマ部門：148点（県内：105点，県外：43点）
自由部門：406点（県内：298点，県外：108点）

4 ボランティア参加状況（延べ人数） 89人

ボランティアの皆さんには、事前に障害特性等についての研修を受けていただき、障害のある方等への必要な配慮などを理解してから、業務に当たっていただいた。高校生や大学生等、若者の積極的な参加が目立った。

5 大会関連イベント 8イベント

- ・あったか交流フェスタ2015
- ・ふじ美の里アール・ブリュット展
- ・平成27年度友愛フェスティバル
- ・第16回ルピナス会チャリティコンサート
- ・第7回鹿児島県ソフトバレーボール大会兼平成28年度九州大会県代表選抜大会
- ・JDDネットワークセミナー in かごしま
- ・発達障害についての公開学習会「中邑賢龍先生講演会」
- ・第26回在宅知的障害（児）者作品展示即売会

大会の開催気運の醸成を図るため、関連イベントを広く募集し、相互PRによる広報の充実を図った。

オープニングセレモニー



厚生労働大臣
(代読)
長井 浩康 厚生労働省
自立振興室長補佐



前鹿児島県知事
(大会実行委員会会長)



鹿児島市長
(大会実行委員会副会長)



オープニングパフォーマンス
(県内の障害者支援施設
2団体が出演)



表彰式
全国障害者美術・文芸作品展



鹿児島県出身の盲目の
シンガーソングライター
木下航志による記念ライブ



全国障害者美術・文芸作品展

全国から公募した障害のある人、又は障害のある人を含むグループが共同で制作したアート作品を展示。
 絵画や工芸品など全国から約550点の感性溢れる作品を応募いただきました。
 作品展には3日間で2,000人以上が来場し、来場者は、表現豊かな数々の作品に見入っていました。

● 応募作品

項 目		計	県内	県外
美術部門	自由部門	365	272	93
	テーマ部門	144	101	43
	小 計	509	373	136
文芸部門	自由部門	41	26	15
	テーマ部門	4	4	0
	小 計	45	30	15
計	自由部門	406	298	108
	テーマ部門	148	105	43
	合 計	554	403	151

美術部門
 絵画／CGアート等のデジタルコンテンツ作品(静止画)／版画／彫刻／
 工芸／陶芸／写真／書道

文芸部門
 詩／短歌／俳句／川柳／薩摩狂句

鹿児島ならではの取組として、テーマ部門は“桜島”と“ロケット”に設定。また、“薩摩狂句”も募集しました。



● 最優秀作品【テーマ部門】



● 入賞作品【薩摩狂句部門】

- ◆ 優秀賞 別府 柳子
 噴かんでん 噴いてんスター 桜島
- ◆ 佳作 垂水 小百合
 桜島 洗濯物に 灰が積もっ
- ◆ 佳作 橋口 廣子
 爆発っ 桜島がすちゆて 大騒動っ

アール・ブリュット展～終わりのない着地点～

文化や流行、教育等に囚われず、表現したいという心そのままにつくられた「アール・ブリュット」※の作品展を実施。鹿児島県内在住の作家6名を含む国内30名の作家による、625点の作品を展示しました。

プレイベント 会場: 歴史資料センター黎明館
本大会 会場: かごしま県民交流センター

会期: 平成27年11月21日(土)～23日(月・祝)
会期: 平成27年11月27日(金)～29日(日)

※アール・ブリュット 「生きの芸術」というフランス語。美術教育を受けていない人による、技巧や流行に囚われない自由で無垢な表現を讃えて、1945年にフランス人画家ジャン・デュビュッフェが提唱



パラアート展

絵画や書など、国内外の障害のあるアーティストの作品43点を展示しました。

日本: 20作品 / 海外: 23作品(14か国)



パフォーマンスステージ

県内外からの公募により、障害のある人または障害のある人を含むグループ等14組の方々に演奏やダンス、劇などを披露していただきました。

● 11月27日(金) 中ホール



麦の芽福祉会による合唱



鹿児島盲学校音楽部による吹奏楽

● 11月28日(土) 県民ホール



麦の芽福祉会によるジャンベ演奏



希望の園による合唱・踊り



い〜す♡かあによる車椅子ダンス

ふれ愛ステージ

障害の有無やジャンルを問わず，県内外から公募した18組の方々に演奏やダンスなどを披露していただきました。参加者や観客が一体となって交流を深め，イベントを楽しみました。

● 11月28日(土) 屋外ステージ



牧之原養護学校高等部によるダンス



車いすレクダンス普及会による車椅子ダンス

● 11月29日(日) 屋外ステージ



フラフィオ・モアニ・ケ・アラによるフラダンス



ZOSAN DXによるバンド演奏

ワークショップ

3つのテーマで障害のある人となない人の交流を深めることを目的としたワークショップを多数実施しました。

1 “みんなで作る！”

- ・料理教室／今村学園ライセンスアカデミー
- ・しずく石けん作り／NPO法人 Lanka
- ・さをり織り体験等／鹿児島県手をつなぐ育成会地域活動・就労支援協議会

2 “みんなでまなぶ！”

- ・補助犬（介助犬）体験／九州補助犬協会
- ・障害者支援学習／鹿児島県自閉症協会

3 “かごしまの魅力を感じる！”

- ・火山灰アート体験／桜岳陶芸
- ・火山灰ねんどアート体験／モルタルマジック

みんなで作る！

● さをり織り体験等

11月27日～29日の3日間で294名が参加



● 料理教室

11月28日・29日の2日間で84名が参加。
どら焼きやカップケーキなどを作りました。



みんなでまなぶ！

● 補助犬体験

11月27日～29日の3日間で94名が参加



かごしまの魅力を感じる！

● 火山灰ねんどアート体験(色付け)



● 障害者支援学習

11月29日に実施, 15名が参加



● 火山灰アート体験



火山灰ねんどアート体験(色付け)

日程：11月28日・29日 午後 参加者数：152名

火山灰アート体験

日程：11月28日・29日 午前 参加者数：61名

バリアフリー映画祭

障害のある人や高齢者、また、障害のない人も心から楽しむことができる音声ガイドと日本語字幕付きのバリアフリー映画の上映会では、初めてバリアフリー映画を鑑賞する人も多く、“子どもにも見やすく、みんな一緒に楽しめた”“背景などの詳しい説明があることで、かえって新鮮に感じられより楽しめた”といった感想が多く寄せられました。

また、映画「舞妓はレディ」の周防正行監督と鹿児島市出身の主演女優上白石萌音さんのスペシャルトークでは、撮影時の思い出や作品への思いが語られ、会場を沸かせました。

日付	上映時間	映画名	参加者
11/28 (土)	9:30～11:23	あん	171
	12:00～13:44	六月燈の三姉妹	244
	14:00～17:00	舞妓はレディ(トークショー含む)	235
		小計	650
11/29 (日)	10:00～11:30	百日紅～Miss HOKUSAI～	42
	13:00～14:33	マンゴーと赤い車椅子	165
		小計	207
		合計	857



かごしまあったかタウンマルシェ

障害のある人が働く施設や事業所などで心を込めて作った農産物、お菓子やパンなどの飲食物や、バッグ、アクセサリーなどの手芸・小物製品等を販売し、多くの購入客で賑わい、また販売を通して障害のある人とない人の交流も広がりました。



3日間で延べ25団体が出店



菊池桃子講演会

演題

「ソーシャルインクルージョンってなに？～すべての人々が参加する社会～」

日時:11月29日(日) 10:30~12:00

会場:県民ホール

ご自身の子育ての中での体験談など、とてもわかりやすいお話で多くの“気づき”を得ることができました。



ゲストステージ

● 鳥取県立米子養護学校 神楽「八岐大蛇」



昨年度の全国障害者芸術・文化祭の開催県であった鳥取県の県立米子養護学校の生徒達による神楽「八岐大蛇」。一つ一つの技が決まるたびに、自然と大きな拍手が起こりました。

● 音パフォーマンスotto & orabu



鹿児島市の障害者支援施設しょうぶ学園のotto & orabuによるパフォーマンス。ottoのリズムとorabuのヴォイスが絶妙のコラボレーション空間を創り上げ、迫力のパフォーマンスに観客は大いに盛り上がりました。

ゲストステージ

● 川畠成道ヴァイオリンコンサート



● 城南海ライブ



● 井上あずみ & ゆーゆーハートフルコンサート



フィナーレイベント



大会3日間を振り返るメモリアル映像上映の後、大会出演者やボランティアスタッフ、来場者などステージと客席がひとつになって「世界にひとつだけの花」を手話を交えて歌い、感動的なフィナーレを迎えました。

会場等の様子

● 会場入口



● 総合案内・各種受付



● Show-1グルメ



● 屋外会場



大会開催に当たり、バリアフリー対策・障害者対応を実施しました

- チラシ・リーフレットにはSPコードを付与
- ステージイベントには手話通訳・要約筆記を実施、音声支援システムを導入
- 各イベント会場に、ボランティアスタッフや手話通訳を配置
- 会場にスロープを設置
- JR鹿児島中央駅・臨時駐車場から会場までの無料シャトルバス(ノンステップバス)を運行

● シャトルバス



会場内に情報支援席を設け、受信機を貸し出し、音声サポートを行った。

紙媒体にはSPコードを付与

アンケート結果

● アンケート回収数

日付	区分	計	県内	県外	空白
11/27(金)	回収数	337	304	6	27
	割合		90.2%	1.8%	8.0%
11/28(土)	回収数	795	745	38	12
	割合		93.7%	4.8%	1.5%
11/29(日)	回収数	612	595	13	4
	割合		97.2%	2.1%	0.7%
合 計	回収数	1,744	1,644	57	43
	割合		94.3%	3.3%	2.5%

● アンケート内容

1 イベントの内容・評価に関するもの

イベント名	意見
美術・文芸作品展 (公募展)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の力を発揮している作品を多く見つけ嬉しくなった。 ・ どの絵を見ても細やかな線, 鮮やかな色, ピュアな心が全開で心を打たれた。まっすぐにただ素直に正直に生きている姿に心が洗われた。 ・ 一生懸命作品に取りかかっている姿に感動した。 ・ 障害者の持つ可能性の大きさを感じた。 ・ 個性の生かし方が素晴らしいと思った。 ・ 迫力, 多彩な色使い, 作品に制作者の気が強く感じられた。 ・ 迫力もあり, 細かな作業で作品を作りあげてあり, 驚き, 感動した。 ・ はっと驚くような完成度, 色・デザインに感動した。 ・ 作品を出展したが, 外出のきっかけができて大変嬉しい。 ・ 作品に感動し, また勉強になった。デイケアでの創作の参考になった。
アール・ブリュット展/ パラアート展(企画展)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人の心の奥深さ, 不思議さに感動し, お金を払ってでも見たい素晴らしい内容だった。今回のこの催しを今年だけのものにせず, 毎年, 年に1~2週間たっぷりやってほしい。素晴らしい内容だった。 ・ 本当に心を動かされ感動した。 ・ 色々なアートがあっっておもしろかった。 ・ 芸術・文化にその人の精神の強さを伝える自己表現を感じた。

● アンケート内容

1 イベントの内容・評価に関するもの(つづき)

イベント名	意見
パフォーマンスステージ ふれ愛ステージ	<ul style="list-style-type: none"> ・ ステージ参加者のステージ上での笑顔に感動した。 ・ みんな明るく、生き生きと全力でステージを作っていて元気や勇気もらった。 ・ 初めて拝見し、がんばっていらっしゃる姿、笑顔に感動した。息子(障害あり)も熱心に聞き入って大きな拍手を送っていた。 ・ 初めて大きなステージに立って、緊張したが、みんなに見てもらえて嬉しかった。 ・ 舞台に立てて嬉しかった。家族やみんなに褒められたのでこれからもがんばれる。
ゲストステージ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 八岐大蛇が迫力満点だった。 ・ 鳥取の神楽が素晴らしかった、プロのようだった。 ・ otto & orabuのステージ素晴らしかった、感動した。
講演会	<ul style="list-style-type: none"> ・ わかりやすい表現で丁寧にお話いただけていろんな気づきもあり、日常の生活を送る上でも励みになるように感じられた。
バリアフリー映画祭	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初めてバリアフリー映画を見た。子どもにも見やすく、みんな一緒に楽しめていいなと思った。 ・ 音声の解説に初めは違和感を覚えたが、次第に慣れ、背景など詳しく説明されることで、かえって新鮮に感じた。 ・ バリアフリー映画が将来の映画の一般的な形になっていけばと願う。
ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 親子でワークショップを体験できてとても楽しかった。 ・ 介助犬を初めて知り、介助犬のすごさを知った。
かごしまあったか タウンマルシェ	<ul style="list-style-type: none"> ・ たくさんの出店があり、賑やかで楽しかった。 ・ どれもおいしく、たくさんの出店があり楽しめた。

2 イベント全般に関する感想など

- ・ ボランティアとして参加して、たくさんの人と出会い関わってとても楽しかった。
- ・ 他の障害者施設の方との交流ができた、今後もこのような企画をしてほしい。
- ・ 温かい気持ちになれた。人とのふれあいの大切さを改めて感じた。
- ・ 障害があろうがなかろうが、その人が持っている力を伸ばそうとする努力と周りの協力があれば力以上のものが引き出せると感じた。
- ・ 障害者の方や支援している方を今回間近で見て、自分も夢に向かって一歩踏み出したいと思った。勇気もらった。
- ・ 障害を持っていてもそれぞれの個性を行かして輝けるということを改めて実感した。
- ・ 障害者の方の文化・芸術に一度にこれだけ多く触れる機会がなかったのでよかった。チラシなど、写真で見ると作品実物を目の前にするのでは、感じるものも違う。
- ・ 障害者と健常者が一緒になって取り組んでいけるこのような機会をもっと増やしてほしい。
- ・ 耳が不自由なので、ループ席を利用し、よく聞こえた。今後もループ席の準備があれば参加できる機会も増えるので、今後も取組を続けてほしい。

大会を終えて

**障害のある人もない人もみんなで楽しみ，交流でつなぐアートの輪！
延べ17,000人以上が来場！！**



本大会では、障害に対する理解と認識を深める場にしたいという思いを込めて「障害のある人もない人もみんなで楽しみ，交流でつなぐアートの輪！」をコンセプトに掲げ，誰もが参加でき，楽しめるイベントを多く取り入れるなど，多彩なイベントを実施してまいりました。

3日間にわたり繰り広げられた多くのイベントでは，年齢や障害の垣根を越えて，会場が一体となり，全ての人との「ふれ愛」を紡ぐ交流の輪が広がりました。

また，障害のある人が日頃取り組んでいる芸術や文化活動の成果発表・紹介を通して，大会に参加・来場していただいた多くの皆様に，その創造性や芸術性にあふれた創作活動の魅力に触れていただくことができたのではないかと思います。

鹿児島県では，「障害のある人もない人も共に生きる鹿児島づくり条例」を制定し，障害を理由とした差別をなくし，障害に対する理解を深めることで，誰もが同じように日常生活を過ごし，社会活動や経済活動，文化活動に参加できる社会の実現を目指しているところです。

このような中，本大会は，多くの方々との出会いや交流を広げていただくとともに，障害のある人の芸術・文化活動がますます豊かに展開され，自立と社会参加の促進につながる契機になったものと考えております。

鹿児島県では，本大会から得られた成果を一過性のものとすることなく，引き続き障害に対する県民の理解と認識を深めるとともに，障害者の芸術文化活動の更なる振興を図ってまいります。

(平成32年に鹿児島県で開催する国体・全国障害者スポーツ大会やオリ・パラの文化プログラムに連動した障害者の文化芸術活動の支援事業を検討中)